

インターンシップに参加して

第四銀行 <<<

経済学部経営学科 4年 山崎 達也



私は株式会社第四銀行のインターンシップに参加しました。内容としては1週間程度の講義形式をとっており、毎日交代で様々な部署の方からお話をお聞きしました。構内の裏側も案内していただき、普段覗くことの出来ない銀行業務を見せていただきました。行員の方によると働いている行員でも話を聞ける機会がめったにないような方からお話を聞けるということでした。大学の講義によって銀行の業務についてある程度の予備知識はあったものの、お話を聞かせていただいたことで学校では学ぶことの出来ないことを知り、現場で働く方の生の声を聞ける良い機会となりました。社会の中で問われる法令遵守、コンプライアンスの大切さ。金融機関ではどこも直面する、融資における審査の重要さという2点が特に印象に残りました。

就職活動では金融機関におけるある程度の業務内容や概要をインターンシップの経験から知ることが出来たので、説明会に参加した際に積極的に質問、また聞きたいことを人事の方からお伺いすることが出来ました。自分が金融機関で働きたいと志望動機を考える際にもより具体的に考える助けにもなりました。

就職活動を終えた現在では、銀行業務の種類に触れたことで今後自分がどのようなキャリアアップを行いどのような仕事をしていきたいかということを考える上での助けとなってくれています。また普段聞けない貴重なお話を聞くことができ、会社に対する距離が近くなったように感じます。

今後は働いていく中で初心にかえり、仕事をする上でのやりがいをみつめる助けに。また様々な部署が連携して機能していることを理解し、お互いを尊重しあって高める糧になればと考えています。

● 第四銀行 インターンシップ実施日程	
研修日	研修内容
8/24	午前 銀行業務のしくみ オリエンテーション
	午後 営業店業務について 営業部の見学
8/25	午前 リスク管理とコンプライアンスについて
	午後 EB、だいしダイレクトATMシステムについての説明 コールセンターの説明、見学
8/26	午前 システムリスクについて 第四銀行システムの変遷と将来展望
	午後 広報室の活動 資料室見学 有価証券運用について 市場運用部見学
8/27	午前 法人取引企画・推進 消費者ローン企画・推進
	午後 預り資産企画・推進 PR企画 融資審査・管理 取引先支援活動について



シビアな社会での戦いを感じ取る

日本精機株式会社 <<<

工学部福祉人間工学科 4年 小熊 隆史



私がインターンシップを知ったのは一年の冬だったとおもいます。大学掲示板にあった掲示を読んでその存在を知ったのですが、そのときは参加しようとは露にも思いませんでした。そのうち周りの上級生がインターンシップに参加しようとしている姿を見て、それならと自分も参加しました。

そんなふうにならぬように参加したわけですが、インターンシップに参加した後の感想としては、実際、社会に出て働くということはアルバイトをすることは全く異なるということを感じました。例えば、私がお世話になった企業の方に教わったQCDDという概念です。品質(Q)、コスト(C)、納期(D)。これを保証することが会社の総力とこのことです。ちなみに品質とは優れた機能を持っているだけなのではなく(持っていることも必要ですが)、不良品がなくスベック通りに作り出す技術もまたふくまれるのです。こういった考え方は普通に学生生活を送っていたところで感じられるものではありません。一分一秒、一円一銭とシビアな社会での戦いというのを感じることは、自分にとって十分な刺激となりました。こういったシビアな仕事に対する“感覚”というものは文書などの文字やあるいは人の話といった間接的なことから

なかなか理解しにくいと思います。

また、印象に残っているのは、働いている人が自分の仕事に誇りを持っているということです。作っていた製品を満面の笑みで説明してくれた従業員の方々の姿をみて、自分が本当に何をやりたいのか、どういった仕事をしていきたいのか真剣に悩むきっかけにもなりました。そのため就職活動もすいぶん助かりました。10年後の自分はあそこで働いていた従業員の方のように自分の商品に自信を持って笑顔で説明する、そんな人間になってやろうと思います。

● 日本精機株式会社 インターンシップ実施日程		
研修日	研修場所	研修内容
8/17	本社・高見工場 R&Dセンター等	会社概要説明 工場見学 安全衛生管理・品質管理 会社組織と仕事の流れ 等
8/18 8/20	高見工場	工場ライン概要説明 二輪メータライン実習 等
8/23 8/27	高見工場	四輪メータライン実習 産業カウンセラーの話 等

